

## 新エッジがエンジンの変更で激変 改定

新しい Microsoft Edge は「メイ 2020 アップデート」における事実上の標準 Web ブラウザーだ。厳密には今回のアップデートとは別物だが、新エッジ自体は 2020 年 1 月に登場しており自動更新での提供が予定されている。

すぐに新しいエッジを使いたければ手動でインストールできる  
新エッジは旧エッジを置き換える格好になり、旧エッジが使えなくなるが、お気に入りやパスワード、履歴などは新エッジに引き継がれる

新エッジについてまず理解しておきたいのが、その技術的背景だ。**新エッジではブラウザーの“核”となるエンジンが Google のウェブブラウザ Chrome と同じになった。**その結果 Chrome では正常に表示されるのにエッジでは乱れるといった互換性トラブルの減少が期待される

新エッジは見た目や機能も大きく変わった。**新規タブの画面レイアウトは「イメージ」「シンプル」「ニュース」の 3 種類。**それぞれ「クリックリンクを表示させない」「ニュースの言語を変える」といったカスタマイズができる。

**機能面で注目されるのが「コレクション」。**これは Web ページそのものや中にある画像、テキストなどを収集する機能だ。買い物リストを作ったりプロジェクトの参考書を集めたりするのに役立つ。収集したコンテンツは Word や Excel に書き出すこともできる

**新エッジには同期機能もある。**同じマイクロソフトアカウントでサインすれば、職場と自宅のパソコンで同じお気に入りやパスワードなどなどを使える。

**新エッジにはスマホアプリ（Android 版 iOS 版）もありスマホとの同期も可能だ。**

さらに注目されるのは拡張機能。これまで Edge 用の拡張機能はクロム用に比べると数が少なかったが、**新エッジでは Chrome 用の拡張機能も使える。**

新エッジには**サイトのアプリ化**と言う面白い機能もある。Google マップや Office Online といった Web アプリ型のサイトを、独立したアプリとしてインストールできるのだ。アプリ化したサイトはスタートメニューに登録され、単体アプリのように機能する。

**セキュリティ機能も強化された。**ウェブサイトはトラッカーと呼ばれるツールを使って閲覧履歴などを収集し、各ユーザーに適した広告をご用意することが多い。こうしたサイト側の追跡を 3 段階で制御できる。

最後に旧エッジとの比較をしておこう。旧来の「読み取りビュー」は名称が「イマーシブリーダー」に変わった。内容はほぼ変わっておらず、音声による読み上げや印刷もできる。

一方新エッジで失われた機能も少なくない。特に **PDF の見開き表示、しおり表示ができなくなったのは痛い**

参考文献:日経 PC21 8 月号

新しくなったインターネットの便利な使い方 (YouTube)

改定したサイト <https://www.youtube.com/watch?v=ntQP7VjC-Xo>